

たかずやの里通信

令和2年度 - 第4号 -

…発行日…

令和3年3月1日

…発行人…

児童養護施設 たかずやの里

伊那市東春近7000-8

TEL 0265-72-6456

FAX 0265-72-7607

ホームページ

QRコード →

URL www.janis.or.jp/users/takazuya03/



本年度もたかずやの里をご支援いただきまして ありがとうございました

年度末の挨拶

令和2年度は、新型コロナウイルス対応に終始した1年でした。さまざまな行事も中止になり、地域の皆様方との交流も自粛となりました。

このようななかで、皆様方から多くのご寄付を賜りました。厚くお礼申し上げます。

「たかずやの里」の職員は、コロナ禍の中、安心して生活できるよう子どもたちに一生懸命寄り添ってきました。自分自身を職員に全て預ける、そんな子どもたちの表情がとても印象的でした。

皆様方におかれましては、今後とも、それぞれのお立場で、「たかずやの里」の職員や子どもたちに温かく手を差し伸べていただければ幸いです。どうかよろしく願いいたします。

社会福祉法人たかずや福祉会
理事長 伊藤 隆

写 真

数年前、かつての入所児童が結婚の報告にきました。懐かしい話をしていると子どもの頃の写真が無いと言うのです。そこで当時の写真をコピーしてあげるととても喜んでくれました。

このようなことがあると、写真を整理しておきたいと思うのですが大変な量です。

フィルムの時はフィルムが無駄にならないようシャッターを切っていました。デジタルになった今は大量の写真データが残っています。

年度末の今は、退所する子どもたちのために担当職員がアルバムを作成しています。

写真はたかずやの里で生活した思い出であり、成長の記録でもあります。そこには学校生活や友人たちとの多岐にわたる記憶が伴います。それゆえに常日頃、子どもたちと関わりを持ち、支えてくださる皆さまは大切な存在です。ここにあらためて感謝を申し上げます。

ありがとうございます。

施設長 菅 雄峰

クリスマスを楽しみました

例年であれば有志の歌や踊り、幼児さんたちの可愛らしい発表があったのですが、今年は新型コロナウイルスの影響でギリギリまで検討し、施設全体でのクリスマス会を中止とし、ユニットごとで行うこととしました。寄付で



頂いたケーキやチキンを食べたり、お菓子をもらったりと楽しんでいる姿が見られました。イヴの夜には、みんなが待ちに待ったサンタさん！！そわそわしながらも眠りにつき、クリスマスの朝にプレゼントを確認して大喜び！！異例尽くしの年でしたが、来年は施設全体で盛大なクリスマス会を行えることを願っています。





体験報告



ラーメン提供

毎年クリスマスイブに、「麺屋二八」、「麺づくり蒼空」の両店の皆さんが子どもたちにラーメンを振舞ってくださいます。例年はたかずやの里の中で調理をしてもらいますが、今年は新型コロナウイルスの影響の為、お店で作った“つけ麺”を届けていただきました。例年とは異なる形ではありましたが、お腹も心も満たされ子どもたちは大喜び！とても素敵なクリスマスプレゼントになりました。



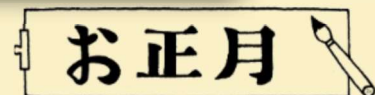
餅つき

恒例の餅つきをしました。新調した餅つき機を使用。上手につけるのかな？時間は大丈夫かな？ドキドキしながらスイッチを入れ、つきあがるのを待ちました。子どもたちも興味深々。つきたてを味見したり、きな粉、ごま、あんこをまぶす手伝いをしてくれたり、楽しく夕食の用意ができて、美味しく皆で食べることができました。

書き初め

毎年恒例の書き初め。今年は1月4日に行い、小学生の有志8人、中学生の有志6人が参加しました。お手本を見ながら、広いホールで楽しくのびのびと、書くことができました。

墨の香りに包まれて筆を持つのは、普段とはまた違う心地良さを感じられるひと時でした。



退園生のことば (Mさん 18歳)

私は、小6の終わりにたかずやの里に入所しました。入ったばかりの頃は、心細く、気持ちも落ち着かず、周囲に流されやすいこともあって、ユニットの職員どころか、たかずやの職員全員に迷惑ばかりかけていました。今でも充分迷惑かけているけど、入ってきた頃より迷惑をかけることはなくなりました。

私がここまで成長できたのは、他のユニットの職員はもちろん、昔と今の担当職員、ユニット職員、心理職員、施設長の菅先生が、子どもの立場になって考えてくれて、ちゃんと話を聞いてくれたおかげです。ありがとうございました。

私は、もう少しで施設を出るけど、施設を出ても、教えてもらったことを忘れずに生活していきたいです。

